

ちやれいばらきター



みずき野地区まちづくり協議会



利根ニュータウンたまり場「そよかぜ」



NPO法人 あっとホームたかまつ



NPO法人 フードバンク茨城



NPO法人 セカンドリック茨城

CONTENTS

〔特集〕P2-3

花いっぱい運動定着化促進事業
花と緑の環境美化コンクール
チャレンジいばらき作文コンクール

P 4 提案型共助社会づくり支援事業

P 5 「困ったな…」になる前に知っておいてほしいこと

P 6 「共助で」「みんなの力で」地域づくり！！

P 7 地域活動員（ネットワーカー）の活動紹介
交流サロニーいばらき／第22回寺子屋サロニー

INFO いばらきアマビエちゃん／ダイバーシティ推進センター



令和2年度

花いっぱい運動定着化促進事業

花づくりを通して地域コミュニティの再生・活性化を図るとともに、花いっぱい運動がさらに定着し発展していくきっかけとなることを目的に、公益財団法人げんでんふれあい茨城財団との共催により実施しました。

応募のあった56の団体・学校について、チャレンジいばらき県民運動に設置した「花いっぱい運動定着化促進事業審査委員会」の審査により、右記の30の団体・学校を認定団体として選考・決定しました。



市町村	団体・学校名	市町村	団体・学校名
水戸市	千波湖周辺の公園と自然を愛する市民の会	つくば市	つくば秀英高等学校
水戸市	吉田学童	つくば市	とよもりボランティア
日立市	西一花広場をきれいにする会	ひたちなか市	ひたちなか市立中根小学校
土浦市	桜ヶ丘ニュータウン「桜花壇」	鹿嶋市	はまなす公園前駅お花愛好会
土浦市	障害福祉サービス事業所たんぽぽ作業所	那珂市	新宿自治会
土浦市	新治地区市民委員会 環境部	那珂市	ぬかだの子どもを守り支える会
古河市	クリーン古河の会	筑西市	筑西市立関城中学校
古河市	古河市立上大野小学校	坂東市	坂東市立岩井中学校
常陸太田市	天神林笑楽会	稲敷市	稲敷市立あずま東小学校
常陸太田市	常陸太田市立佐竹小学校	鉾田市	鉾田市立白鳥東小学校
高萩市	高萩市立高萩中学校	城里町	あくつサロン
牛久市	かみや緑の里親元気クラブ	城里町	城里町立桂小学校
つくば市	研究学園グリーンネックレスグリーンの会	大子町	大子町立だいご小学校
つくば市	小田地域まちづくり振興会	八千代町	下山川行政区
		八千代町	菅谷西老人クラブ
		利根町	利根ニュータウン花の会

第48回

花と緑の環境美化コンクール

花いっぱい運動で、すばらしい成果をあげている地域・団体・職場・学校を顕彰し、環境美化及び集団活動における優れた取組みを広げ、花いっぱい運動が地域や団体に根ざした運動となるよう推進することを目的に実施しました。

応募数471点のうち、各市町村の審査を経て推薦された78点について、チャレンジいばらき県民運動に設置した「花と緑の環境美化コンクール審査委員会」の審査により、以下の24の団体・学校を選考・決定しました。



部門 市町村 団体・学校名

《茨城県知事賞》

フラワーロードの部	石岡市	東の辻二部町内会美化クラブ
おもてなし花壇の部	坂東市	長須交通安全母の会
団体・職場の部	茨城町	ひらさわファーム
学校の部	常陸太田市	常陸太田市立佐竹小学校

※知事賞を受賞した上記団体・学校は、2020年度から2022年度まで「花と緑の県民運動モデル花壇」として指定されます。(3年間)

《茨城県教育委員会教育長賞》

フラワーロードの部	水戸市	国田の道路をきれいにする会
おもてなし花壇の部	石岡市	東の辻水源美化クラブ
団体・職場の部	牛久市	刈谷地区自治会
学校の部	水戸市	水戸市立城東小学校

《茨城新聞社長賞》

フラワーロードの部	牛久市	かみや緑の里親元気クラブ
おもてなし花壇の部	水戸市	株式会社 吉田石油水戸SS
団体・職場の部	土浦市	新治地区市民委員会環境部
学校の部	土浦市	土浦市立荒川沖小学校



《茨城県花き園芸協会会長賞》

フラワーロードの部	潮来市	潮来市農業委員会
おもてなし花壇の部	日立市	水木十文字花だん
団体・職場の部	日立市	赤羽緑地を守る会
学校の部	大子町	大子町立上小川小学校

《茨城県造園建設業協会会長賞》

フラワーロードの部	那珂市	一の関自治会 一の関西フラワーロード
おもてなし花壇の部	美浦村	山王福寿会
団体・職場の部	常陸太田市	谷河原高砂会
学校の部	城里町	城里町立桂小学校

《チャレンジいばらき県民運動理事長賞》

フラワーロードの部	つくば市	つくば市 森の里自治会
おもてなし花壇の部	八千代町	下山川行政区
団体・職場の部	鉾田市	無量寿寺佛教婦人会
学校の部	土浦市	土浦市立大岩田小学校

審査講評

第48回 花と緑の環境美化コンクール 審査委員長 櫻井 茂幸

今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、集団での活動が制限されたり、植栽などのスケジュールに影響が生じるなど、花壇の管理には大変ご苦労が多かったことと思います。そのような中、感染拡大防止策を講じつつ、地域に安らぎと潤いを創出するため、工夫を凝らし立派な花を咲かせた関係者の皆様方に敬意を表する次第です。

審査方法についても、従来実施していた現地審査に代えてビデオ審査を行うなど、審査対象となった皆様にはお手数をおかけしました。

花づくりは人づくり、そして地域づくりです。今後も花いっぱい運動を通して、やさしさとふれあいのある茨城づくりや、おもてなしの心が県内全域にますます広がっていくことをご期待申し上げ、審査講評とさせていただきます。



令和2年度

チャレンジいばらき作文コンクール

本県の未来を担う子どもたちに、作文を通じて茨城の良さに気付いてもらい、個性と創造性に富む、心豊かな人づくりに資することを目的に実施しました。

今年度は「わたしの町の魅力・発見」をテーマに、県内に通学する児童・生徒を対象に作文を募集したところ、3,498点の応募があり、チャレンジいばらき県民運動に設置した「作文コンクール審査会」の審査により右記の42作品を選考・決定しました。

部門	学校名	学年	氏名	作品名
《茨城県知事賞》				
小学校低学年の部	那珂市立菅谷小学校	2	二階堂 大智	はくちょうのとおりみち
小学校高学年の部	筑西市立上野小学校	5	石島 和奈	「当たり前」の美しいふるさと
中学校の部	つくば市立豊里中学校	3	土田 有紗	私に今出来ること

《茨城県教育委員会教育長賞》				
小学校低学年の部	茨城大学教育学部附属小学校	3	中島 千智	なか川のみの力再発見！
小学校高学年の部	取手市立白山小学校	4	岩館 慎士朗	町をみりよくてきに
中学校の部	水戸市立内原中学校	1	大津 未由奈	水戸の自慢「弘道館」

《茨城新聞社長賞》				
小学校低学年の部	那珂市立菅谷小学校	1	須藤 大輝	なかしのいいところ
小学校高学年の部	守谷市立高野小学校	6	原 彩姫	わたしの町の素敵な場所
中学校の部	水戸市立石川中学校	2	保志 美実花	野菜と私一地域の繋がりで学ばー

《チャレンジいばらき県民運動 理事長賞》				
小学校低学年の部	つくば市立栗原小学校	2	野添 奏多	ゆめがたくさんあるぼくの町
小学校高学年の部	桜川市立雨引小学校	6	根本 祐希	ぼくの大好きな場所
中学校の部	筑西市立下館西中学校	1	飯島 愛珠	素敵な私の町

《チャレンジいばらき県民運動 奨励賞》				
小学校 低学年の部	龍ヶ崎市立馴染小学校	1	関口 陽瑠	りゅうがさきののぐちせんしゅガンバツ！
	取手市立取手小学校	1	岩田 想叶	わたしのまち
	つくば市立沼崎小学校	1	笛田 京翼	わたしのまちのじまん
	茨城大学教育学部附属小学校	2	木村 新	れきしいっぱい水戸のまち
	水戸市立常磐小学校	2	菊池 颯真	ぼくのじまんのみとし
	水戸市立吉田小学校	2	友常 そら	公園のひみつ
	守谷市立高野小学校	2	澤野 美雅	みどりの町もりや
	つくば市立谷田部小学校	3	釜屋 衣桜	わたしの町の自然のみりよく
	つくば市立谷田部小学校	3	高村 桃佳	つくば山でサイクリング
	城里町立沢山小学校	3	安藤 馨子	私が発見した町のいい所
小学校 高学年の部	茨城大学教育学部附属小学校	4	栗林 美侑	昔ヘタイムスリップ
	ひたちなか市立長堀小学校	4	菅野 由真	私の自まんの小学校
	稲敷市立新利根小学校	4	與板 俊介	ぼくの自まんの稲敷市
	境町立静小学校	4	石井 悠生	すてきな町「さかい町」
	茨城大学教育学部附属小学校	5	海老根 理咲	水がわくまち水戸
	石岡市立南小学校	5	坏 ひなた	オッシャイナー、石岡へ！
	つくば市立荃崎第二小学校	5	榎本 圭汰	茨城と言えば・・・
	坂東市立岩井第二小学校	5	落合 ひなた	わたしの町のいいところ
	稲敷市立江戸崎小学校	5	酒井 優太郎	自然豊かなぼくのまち
	つくば市立島名小学校	6	岩田 明香里	小学校、廃校、そして未来
中学校の部	土浦市立土浦第五中学校	7	尾鷲 夏海	ぼく達の町の自慢できる風景
	土浦日本大学中等教育学校	1	河野 千畝	筑波山の素敵なところ
	大洗町立南中学校	1	平田 叶音	私の大好きな大洗の海
	石岡市立府南中学校	2	勝倉 心美	素晴らしい自分の地域
	笠間市立岩間中学校	2	伊勢山 咲花	今の町、理想の町
	取手市立取手第一中学校	2	飯塚 美衣	ふるさと再発見
	鹿嶋市立大野中学校	2	萩原 海音	私の町「鹿嶋」
	日立市立平沢中学校	3	柏 奈歩	私が暮らす町日立市について
	笠間市立みなみ学園義務教育学校	9	中村 壮汰	笠間のいいところ
	筑西市立下館西中学校	3	池沢 果倫	私の住んでいる田舎の魅力

審査講評

令和2年度 チャレンジいばらき作文コンクール 審査委員長 茨城大学教育学部教授 川嶋 秀之

今年度の作文のテーマは「わたしの町の魅力・発見」です。普段の生活や見慣れた風景はあまりに当たり前すぎて、なかなか魅力に気づかないものです。自分の町を見渡して、そしてじっくりと見つめ、すばらしいところを意識的に発見していただくとして設定した次第です。

毎年那珂市を選んで来てくれる白鳥への感謝の気持ちが綴られた作文、毎日食べている野菜、四季折々の筑波山の風景、学校の授業など「当たり前」を支えている人たちに思いを馳せる作文、かまどで炊いたご飯と先祖代々守ってきた田んぼの将来を見据える作文などがありました。

コロナ禍の影響による夏休み期間短縮などの対応でご多用の中、ご指導に当たられた各学校の先生方に謝意を表し、講評と致します。

提案型 共助社会づくり支援事業

少子高齢化等により喫緊の地域課題が増えています。それらの解決に向けた取り組みを支援するため、令和元年度から新たに、県と市町村が連携した提案型の助成事業を開始しました。前号に続き、事業採択された団体の活動状況を紹介します。



NPO法人 あっとホームたかまつ

もの作り体験から学ぶ、 未来を生きるための力

あっとホームたかまつが運営する「世代交流プラットフォーム」は、もの作り体験を通して子ども達の「自分でやりきる力」や「発想力」を育てながら、技術支援の高齢者や、ボランティアの中高生等と「近所づきあい」のような多世代交流を創出しています。コロナ禍でも、子ども達に「今しかない時間」を楽しんで欲しい想いから、少人数でじっくり取組む親子講座や、テイクアウト弁当など非対面でも出来る親子支援など、様々な方法を模索し、活動を続けています。

根本さんは次の目標に「子ども達が考えて行動する“こどもショップ”の展開」を掲げており、「子ども達が『与える側』に立ち、失敗も含めた様々な経験を積んで欲しい」と話していました。

NPO法人 あっとホームたかまつ 理事長 根本 幸子さん



NPO法人 セカンドリーグ茨城

「みんなで食材をわけっこ」 子ども食堂支援拠点

セカンドリーグ茨城は、県央地区こども食堂ネット「おかえり」の事務局として県央の子ども食堂を支援しています。おかえりが月1回程度開催している「わけっこ」には、スーパー等からの提供食品のほか、地元農家から多くの野菜が届けられ、子ども食堂で活用されています。おかえりの横須賀共同代表は、「子ども食堂を通して多くの人と交流する他、伝統の食文化を学んだり、地域の農家を知り、食に恵まれた土地に住んでいることについても実感して欲しい」と話していました。

県央地区こども食堂ネット「おかえり」

共同代表 古山 均さん・岡部 佳代子さん・横須賀 聡子さん



助成金で冷凍庫、冷蔵庫を設置しました！
要冷凍・冷蔵品の提供お待ちしております！

「困ったな…」 になる前に 知っておいてほしいこと

不測の自然災害や収束が見通せないコロナ禍などの影響を受け、日常生活が脅かされる深刻な状況になったとき、救いの手となる地域の共助があります。そんな共助活動に取り組む県内NPO団体の方にお話を聞きました。



NPO法人 フードバンク茨城

今そこにある貧困を救う、 食のセーフティーネット

フードバンク茨城は、企業や個人から提供された食品を児童養護施設や障がい者支援施設、(社会福祉協議会や自治体を通じて)生活困窮世帯などに無償提供しています。新型コロナウイルスの影響による収入減で貧困にならざるを得ない状況の人が増える一方で、県内126箇所に設置された「きずなBOX」への食品寄付や、「給付金を活用してほしい」と個人からの寄付が集まるなど、「貧困を解消したい願い」に共感する人達の支援の輪も広がっています。今後さらに「食のセーフティーネット」を強化するため、水戸と牛久以外にも支部を増やすこと、ボランティア増や活動推進のため、若い世代を中心に認知度アップすることが課題と考えています。



NPO法人 フードバンク茨城 田中 健一さん 渡辺 園子さん

NPO法人 フードバンク茨城HP



NPO法人 茨城県防災士会

コロナ禍の今、自分や大切な 人を守るために必要なことは？

茨城県防災士会では、災害時に隣近所同士で助け合える「地域防災力」の強化や、防災・減災に取り組む団体の支援などを行っています。多発する自然災害に備え、今やるべきことを伺うと、「1つ目は、町内会や小学校単位ごとに『地区防災計画』を策定することです。地区の特性ごとに異なる課題を把握し、防災・減災のためにやるべきことを住民同士で『自分事』として考え、計画することが大切です。2つ目は避難所以外に『分散避難』できる場所を検討しておくこと。親戚・友人の家、ホテル・旅館や車中泊など、三密を避けて安全に避難できる場所を家族で話し合っておきましょう」と話してくれました。



NPO法人 茨城県防災士会 加瀬 孝雄さん 小川 欽也さん



「共助で」「みんなの力で」地域づくり!!

自分たちの住む地域をもっと良くしたい。団体メンバーの思いが込められた取組みは、やがて地域に新たな賑わいを生み出しました。どこの地域でも有り得る問題をどう解決していけば良いのか、そのヒントとなるチャレンジをご紹介します。

みずき野地区まちづくり協議会

地域に『にぎわい』をつくる。

みずき野地区まちづくり協議会は、高齢化が進む守谷すみずき野地区に、にぎわいを創出し、みんなが集まれる場所・機会をつくる活動に取り組んでいます。

かつて地区の小学校には千名以上の児童が通い、活気にあふれていたみずき野地区。現在では住民の高齢化が進み、独り暮らしやひきこもりがちの方が増えています。この現状に、誰でも気軽に集まれる場所の必要性を感じた協議会。撤退した銀行支店空き店舗を、所有する守谷市から無償で借り受け、地域住民や大学生の協力でリフォームし、食品や弁当などが購入できる「みずき野ひろば」を今年7月にオープンしました。日中は家に一人であるという女性は「散歩のついでに来ます。運転ができないから近くにあってありがたい」と“ひろば”の便利さを話してくれました。「地区が活性化するよう、みんなに集まってほしい」と語るのは協議会の山下会長。地区の交流拠点として“ひろば”から、にぎわいや笑顔が広がっていきます。

みずき野地区まちづくり協議会 会長 山下 勝博さん

守谷市役所 生活経済部 市民協働推進課 協働推進グループ 係長 森 真也さん



利根ニュータウンたまり場「そよかぜ」

人間力の結晶です。

誰もが安心して暮らせるよう目指すのは「地域の保健室」。空き家を活用した居場所づくりを通して、利根ニュータウンたまり場「そよかぜ」は共助の活動を続けています。

高齢化などで空き家が増え始めた団地・利根ニュータウン。そこで地域の絆を再び取り戻そうと立ち上がったのがボランティアグループ「そよかぜ」です。メンバーには現役をリタイアした専門職のみなさんがおり、医療・保健・福祉等の相談に応じています。心配事相談窓口や赤ちゃん連れママの集い、シルバーリハビリ体操など、人と人とのつながりを大切に多世代間の活動・交流は、地域に共助の心を育むことにもつながっています。この日、開かれていたハンドベル教室。各パートを任されてほど良く緊張感があるなか、みなさんが笑顔で演奏していました。「夫と家にいても会話は無いけど、ここはみんながいるから楽しい」という本音にまた大笑い。代表の荒木さんは「楽しい場所、行ってみたいと思える場所」を心がけて運営していると話します。その言葉通り、素敵な居場所を見つけたみなさんの幸せな笑い声が響いていました。

利根ニュータウンたまり場「そよかぜ」 代表 荒木 昭江さん 連絡先▶Tel.0297-68-2251





県民運動を地域で支える 地域活動員〔ネットワーカー〕の活動紹介

土浦市ネットワーカー等連絡協議会

会長 岩瀬 良子

平成12年3月29日設立。今年で20周年を迎えました。
現在、会員は15名(男性3名、女性12名)。会長を中心に、
きれいで住みよい地域づくりを目指し、霞ヶ浦の水質浄化や
環境美化運動を行っています。

小学校等に出向いて「エコ手作り教室」を開催し、洗剤不要で環境に
やさしいアクリルたわしづくり、エコバッグや牛乳パック再利用のお皿づく
りなどの実践活動を通じて、エコライフ運動を力強く推進しています。

また、全国一斉水質検査への参加、霞ヶ浦湖上体験スクールでの水に
ついての勉強会、「あいさつ声かけ」キャンペーンへの参加など、年間を通
じて様々な活動を行っています。今後、益々の活躍を期待しております。

チャレンジいばらき県民運動

ネットワーカー募集中!

地域活動員(ネットワーカー)は、居住する地域において、地
域の人たちのネットワークづくりや住み良い地域づくりに取り
組んでおり、現在、約960名の方々が県内各地で活躍してい
ます。皆さんも、一緒に活動しませんか?

詳しくは、お住まいの市町村へ
お問い合わせください。

市民活動支援施設

「交流サルーンいばらき」 開館しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を徹底して
おりますので安心してご利用ください。

主な
取組み

- ★職員のマスク着用、手指消毒、体調管理の徹底
- ★利用者に対して、マスクの着用、手指の消毒、
いばらきアマビエちゃん登録などを周知
- ★施設入口にアルコール消毒液を設置
- ★受付カウンターにビニールカーテンを設置
- ★テーブルやOA機器、ドアノブの随時消毒
- ★換気扇の常時稼働、窓や扉の開放による換気



令和2年度

寺子屋サルーン

NPO・地域活動者向け
交流・学び合いの場

第22回

11月22日(日)

「本当に初めてのZoom使い方講座」

NPO法人セカンドリーグ茨城副理事長の奈良間英樹氏をお招きし、「コロナ禍でも団体メンバーと会議したい」「地域活動に関するオン
ライン講座に参加してみたい」「でも難しそうで、どう始めたらいいかわからない」という方に向けて、リモート会議等で広く利用されている
Web会議サービス「Zoom」に関する基礎知識や、利用開始までの準備について実際にパソコン等を使用して教えていただきました。
12月12日(土)には、連続講座としてZoom利用体験(実践編)を行う予定です。



各サービスや講座の詳細は、お気軽にお問い合わせください。

お問
い合
わせ

交流サルーンいばらき

水戸市三の丸1-5-38
茨城県三の丸庁舎2階

Tel.029-302-2160 Fax.029-233-0030

ホームページ ▶ <https://challenge-ibaraki.jp/saloon.html>

E-mail ▶ saloon@challenge-ibaraki.jp



〔開館時間〕

9:30～12:00、13:00～17:45

平日・土日

(火曜日・祝日・年末年始は休館)

選んで、アマビエ。必ず、アマビエ。

「新型コロナウイルス感染症に関する条例」が施行されました。

感染症対策と社会経済活動の
両立を図ることを目的としています。

登録義務

いばらきアマビエちゃんの登録を義務付け

検査義務

県が行う行動調査、検査への協力を義務付け

差別禁止

差別的取り扱いの禁止

利用日ごと、
施設・店舗ごとに
必ず登録
してネ!



いばらきアマビエちゃんアプリ

アプリで撮影するだけで
利用者登録ができる!
メール送信が不要!
アプリのみで完結!



プレゼントキャンペーン

利用登録や登録施設・店舗の感染症対策の
評価をした方の中から、毎月抽選（令和3年
3月まで）で3,500人の方に

県産品 (5,000円相当) を
プレゼント!

茨城県三の丸庁舎3階に

「ダイバーシティ推進センター」がオープンしました。

男女共同参画社会の実現や女性活躍の推進に加え、性別
にとらわれず、誰もが個性と能力を発揮し、あらゆる分野で
活躍できる人材の育成を推進するため、令和2年11月から「ダ
イバーシティ推進センター」がオープンしました。各種講座や
相談事業などを行ってまいりますので、是非ご利用ください。

お問い合わせ

ダイバーシティ推進センター

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38

Tel.029-233-3982 Fax.029-233-1330

ホームページ ▶ <https://www.diversity-ibaraki.jp>

E-mail ▶ sankaku@pref.ibaraki.lg.jp



投稿記事を募集しています!

チャレンジいばらき県民運動では、茨城県内各地域の
情報や、地域活動員（ネットワーク）の活動の投稿記
事を募集しています。投稿していただいた内容は、広報紙
「ちやれいばレター」や当県民運動ホームページ上でご紹
介していきます。ぜひ、お気軽に投稿してください。

投稿方法

ホームページ上の
「地域活動投稿フォーム」に、
記事や写真を入力してください。



チャレンジいばらき
県民運動

会員募集

チャレンジいばらき県民運動では、福祉、環境、青
少年、防犯など様々な分野での地域活動・市民活動を、
県民・団体・企業・行政が手を繋いで支え合い、共助に
よる新しい茨城の実現に向けて、社会の課題に挑戦す
る県民運動を展開しています。このような趣旨にご賛同
され、運動に参加していただける団体・企業、個人の会
員を募集しております。

★団体会費(年)10,000円

★個人会費(年) 2,000円



チャレンジいばらき県民運動 広報紙

令和2年12月1日発行 〔発行〕チャレンジいばらき県民運動 〔編集〕県民活動推進員（魅力発見・発信グループ）

チャレンジいばらき県民運動 事務局

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38 Tel.029-224-8120 Fax.029-233-0030

ホームページ ▶ <https://challenge-ibaraki.jp> E-mail ▶ info@challenge-ibaraki.jp

お問
い合
わせ

